

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	四日市大学
設置者名	学校法人暁学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難		
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計				
総合政策学部	総合政策学科	夜・通信	34		36	70	13			
		夜・通信								
環境情報学部	環境情報学科	夜・通信					42	76	13	
		夜・通信								
(備考) 平成29年度以降入学生対象										

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>(総合政策学部) 総合政策学部履修要綱カリキュラム表にて実務家教員を「実務」と略記している。また、一覧表を掲載している。 https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/life/lecture/2020/sougou/sougo_curriculum_2017ikou2020.pdf</p> <p>(環境情報学部) 環境情報学部カリキュラム表にて実務家教員を「実務」と略記しているので表から確認可能である。 https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/life/lecture/2020/kankyo/kankyo_curriculum_2017ikou2020.pdf (実務家教員担当科目の単位数) https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/guidance/about/2020/202Jugyou_Tanni.pdf</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	四日市大学
設置者名	学校法人暁学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人暁学園のホームページに掲載して公表している
<http://www.akatsuki.ed.jp/images/officerlist.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2017.3.29 ~ 2021.3.28	学園運営全般に対する 企業経営的な視点 からの助言等
非常勤	株式会社役員	2017.3.29 ~ 2021.3.28	学園運営全般に対する 企業経営的な視点 からの助言等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	四日市大学
設置者名	学校法人暁学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

	<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○各学部において「履修要綱」及び「講義要綱(シラバス)」を作成し、年度当初のガイダンスにおいて配付している。</p> <p>「シラバス」については、12月に、すべての教員に「シラバス作成要領」を配付した上で、基本データを教学課で作成し、1月中旬までに教務システム(UNIVERSAL PASSPORT)による入力を依頼し、ほぼ1月末までに原稿の完成及び印刷発注を行っている。学生には3月下旬のガイダンスから公表している。</p> <p>○シラバスは、大学ホームページにも掲載している。</p>
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>大学ホームページに掲載して公表 (総合政策学部) https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/life/lecture/2020/sougou/sougo_syllabus_2020.pdf</p> <p>(環境情報学部) https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/life/lecture/2020/kankyo/kankyo_syllabus_2020.pdf</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

単位の認定は、「シラバス」において、授業科目ごとに成績評価の基準を示し説明するとともに、「履修要綱」で詳細に明示し、単位認定の透明性を図っている。これは教員と学生との信頼関係を高め、学生の学習意欲を高める効果を生んでいる。履修については各学期 24 単位の履修制限が設けられている。これにより計画的な履修が必要となる。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

各学部で履修要綱、シラバス冊子を作成して公表。またHPにも概要を公表している。成績評価は、試験、レポート、授業出席状況などを総合して行われ、合格者に対して、その授業科目の修了を認め、所定の単位が与えられている。

判定	合格				不合格
評価	秀	優	良	可	不可
点数	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0

GPAは、下表の基準により算出している。

区分	評価	成績評価基準	GP	評価内容
合格	秀	100～90点	4.0	特に優れた成績
	優	89～80点	3.0	優れた成績
	良	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	69～60点	1.0	合格と認められる最低限の成績
不合格	不可	59点以下	0.0	合格と認められる最低限の成績に達していない
GPA対象外	認	単位認定科目	-	転編入などにより他大学等で修得した科目を本学の単位としたもの
	止	履修中止	-	所定の手続きを経て、履修を中止したもの

(GPA算出方法)

「4.0×秀の修得単位数」+「3.0×優の修得単位数」+「2.0×良の修得単位数」+「1.0×可の修得単位数」

総履修登録単位数(「不可」の単位数を含む)

○客観的な指標に基づく成績分布の資料

※添付PDF参照のこと。 <https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/about/data.html>

客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>大学ホームページに掲載して公表 https://www.yokkaichi-u.ac.jp/life/risyuu/results.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定に係る方針等は、学部毎に「履修要綱」冊子を作成して学生に配布するとともに、HPにも概要を掲載し公表している。</p> <p>総合政策学部、環境情報学部ともに、学部を卒業し「学士」の学位を取得するためには、次の2条件を同時に満たさなければならないとしている。1. 「4年以上」の在学期間、2. 「各科目分野の卒業必要条件」をすべて満たした上で、「合計130単位以上」の修得すること。</p> <p>卒業の認定にあたっては、1年次から卒業時まで一貫した履修登録及び履修状況等の成績管理を教学関係の基幹システムにて行っており、学生あるいは指導教員が逐次卒業に係る単位の確認を行うことができるとともに、卒業見込判定及び卒業判定を、学部教学委員会、学部教授会で実施し、卒業認定を厳格に行っている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>大学ホームページに掲載して公表 https://www.yokkaichi-u.ac.jp/life/risyuu/lecture.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	四日市大学
設置者名	学校法人暁学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.akatsuki.ed.jp/data.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.akatsuki.ed.jp/data.html
財産目録	http://www.akatsuki.ed.jp/data.html
事業報告書	http://www.akatsuki.ed.jp/data.html
監事による監査報告(書)	http://www.akatsuki.ed.jp/data.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページに掲載して公表 https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/guidance/about/hyouka/houkoku2017.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合政策学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/about/data_1_10.html ）
（概要）総合政策学部総合政策学科は、地域から世界まで幅広い視野をもち、激動する現代社会に力強く対応できる判断力・行動力と豊かな人間性を備えた、地域のリーダーとして活躍できる人材を育成する。このため、既存の学問の枠組みを超えた地域政策、国際政策、スポーツ政策の3つのコース（科目群）を設置し、次に掲げる特徴を有する教育を行う。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/life/risyuu/gra_sou.html ）
（概要）地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材になる、プレゼンテーション・コミュニケーションの能力を身につける、調査・分析を通じて研究テーマを探求する能力を身につける、系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する、幅広い人間力を身につける。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/life/lecture/2020/sougou/Sougo_CDPD_map_2017ikou.pdf ）
（概要）学士力を身につける全学共通教育科目の編成と、一人ひとりの学ぶ目的に即した専門教育の提供、地域連携による新しいスタイルの教育の提供を行う。
学部等名 環境情報学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/about/data_1_9.html ）
（概要）環境情報学部では、高度な情報処理能力を身につけ、総合的な環境の学習・研究・実践を目指すことを教育・研究の目的とし、さらに豊かな感性とコミュニケーション能力をもち、科学的視野にたって、地球・社会・メディアの環境を支える人材を育てると共に、調和した地球環境を築く意欲と能力を備えた人材を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/life/risyuu/gra_kan.html ）
（概要）専門技術者に求められる倫理観を身につけている、地域の持続的発展のために貢献できる、多様な社会の価値観を理解し、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる、環境に関する専門知識・技術を習得し、環境の個々の問題に取り組むことができる、メディアに関する専門知識・技術を習得して、独自の視点で情報発信できる。

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/life/lecture/2018/kankyo/Kankyo_CP_DP_2017ikou.pdf ）</p>
<p>（概要）専門技術者に求められる倫理観を身につけている、地域の持続的発展のために貢献できる、多様な社会の価値観を理解し、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる、環境に関する専門知識・技術を習得し、環境の個々の問題に取り組むことができる、メディアに関する専門知識・技術を習得して、独自の視点で情報発信できる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/life/lecture/2020/kankyo/Kankyo_CDPDP_map_2017ikou.pdf ）</p>
<p>（概要）メディア情報分野と自然環境分野から成り立ち、メディア情報分野は高度情報化社会の進展に合わせた専門分野の知識・能力の習得、自然環境分野は環境問題について、多角的に幅広い科目で学修することができる。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/about/data_1_16.html ）</p>
<p>（概要）自然と社会の環境に関する事柄を総合的に学び、地球規模の問題や地域社会に関わる環境問題解決に取り組みたいひと。プログラミング、Web デザインなどの情報通信技術の修得を目指すひと。スタジオ技術、メディア作品の制作技術を学び、創造力を発揮しながら自己表現したいひと、日本文化を含む異文化に関心があり異文化理解とコミュニケーション能力を深めたいひと。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：大学ホームページに掲載して公表 https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/about/data.html</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					人
総合政策学部	—	9人	7人	0人	1人	0人	17人
環境情報学部	—	7人	9人	0人	0人	0人	16人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		32人					32人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページに掲載して公表 https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/about/data_1_13.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合政策学部	130人	151人	116.1%	580人	564人	97.2%	—人	2人
環境情報学部	70人	74人	105.7%	300人	276人	92.0%	—人	1人
合計	200人	225人	112.5%	880人	840人	95.5%	—人	3人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合政策学部	82人 (100%)	0人 (0%)	77人 (93.9%)	5人 (6.1%)
環境情報学部	45人 (100%)	1人 (2.2%)	39人 (86.7%)	5人 (11.1%)
合計	127人 (100%)	1人 (0.8%)	116人 (91.3%)	10人 (7.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ○各学部において「履修要綱」及び「講義要綱(シラバス)」を作成し、年度当初のガイダンスにおいて配付して学生に周知している。
○大学ホームページに掲載し公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 各学部において、履修要綱冊子を作成して学生に周知。また、HPにも概要を掲載して公表している。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
総合政策	総合政策	130 単位	④・無	24 単位
環境情報	環境情報	130 単位	④・無	24 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/life/risyuu/results.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページ https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/about/data_1_18_Unit_acquisition_status.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページに掲載して公表
<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/img/pdf/guidance/data/sechi/kouchizumen2018.pdf>
<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/institution/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
総合政策	総合政策	680,000 円	200,000 円	365,000 円	令和元年度から
環境情報	環境情報	680,000 円	200,000 円	365,000 円	令和元年度から

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 修学全般については教学課が対応し、特に外国人留学生に対しては留学生支援センターを設置し、対応している。また、前学期、後学期2回のオリエンテーション、並びに成績不振者を対象とした保護者面談も行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) CSC (キャリアサポートセンター) を設置し、進学を含む進路選択に係るアドバイスや支援を行っている。また、3、4年生のゼミ担当教員からも適切な指導を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室、学生相談室を設置し、保健室においては定期健康診断の実施など主に身体の課題を、学生相談室においては専門のカウンセラーを配置し、心身の健康に係る課題に対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページに掲載して公表 https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/about/data_1_11.html https://www.yokkaichi-u.ac.jp/guidance/about/data_1_13.html
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	四日市大学
設置者名	学校法人 暁学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。